

政策 — 3 人権の尊重と相互理解の推進

目 的

- 県民誰もが、学校・家庭・職場・地域などの様々な場面において個性と能力を十分に発揮できるよう、一人ひとりの人権や多様な価値観を尊重する社会づくりを目指します。

現 状 と 課 題

- 未だ差別や偏見が解消されるには至っておらず、人権が尊重される社会、男女共同参画社会とはいえない状況です。
- 県民一人ひとりが人権の意義や重要性を認識し、人権問題を自分自身の問題としてとらえ、解決に向けて取り組むことが必要です。
- 経済・環境・文化など多様な分野において、国際的な相互依存関係が深まりつつあるとともに、外国人住民も増え、多様な価値観や異文化とふれあう機会が増加しています。

取 組 む の 方 向

- 人権尊重や男女共同参画に関する意識を高め、一人ひとりの人権や多様な価値観を尊重する社会づくりを推進します。
- 多様な分野の国際交流・協力活動などを通じて、異文化や様々な価値観に理解を深め、外国人住民と共生する地域づくりを推進します。

成果指標と目標値

成果指標	平成 19 年度		平成 23 年度
「人権啓発フェスティバル」・ 「人権・同和問題を考える県民 のつどい」参加者数	2,250 人		3,000 人

- 人権意識の高まりや人権尊重意識の定着をみる 1 つの指標として、「人権啓発フェスティバル」等の参加者数の増加を目指します。

県が実施する施策

人権施策の推進	・・・ P-222-
男女共同参画の推進	・・・ P-224-
国際化と多文化共生の推進	・・・ P-226-

県民の皆さまへ

- 同和問題などの人権問題の早期解決が望まれているなか、インターネットを悪用した人権侵害、児童・高齢者の虐待、ドメスティックバイオレンスなどが顕在化し、人権問題はより多様化・複雑化しています。一人ひとりが日常生活のなかで、相手の立場や気持ちを考えて行動しましょう。
- 男女共同参画についての理解を深め、家庭、職場、地域などに残っている慣習、しきたりなどを見直しましょう。
- 諸外国に対する相互理解を深め、外国人にも暮らしやすい地域づくりを行っていくために、地域や海外で積極的に活動しましょう。

〔取り組み事例〕

【企業等における人権啓発の取り組み】

松江市、雲南地域（雲南市、奥出雲町、飯南町）、石西地域（益田市、吉賀町、津和野町）においては、企業や団体等が連携して人権・同和問題企業等連絡協議会を設置し人権啓発の様々な取り組みを自主的に進めています。

これらの協議会では、企業のトップや職員を対象とした講演会・研修会の開催、人権意識向上のための資料の作成、人権標語の募集などの啓発事業、街頭における啓発資料の配布などの地域社会へのアピール活動などを展開しています。

【あすてらすフェスティバル】

毎年6月、男女共同参画推進月間にあわせて県立男女共同参画センター「あすてらす」で開催される「あすてらすフェスティバル」は、男女共同参画サポーターや女性団体の協力により運営されています。県内各地で様々な活動を展開している約80の個人・グループによる自主企画イベント等に県内各地から約2千人が参加し、互いに交流を深めています。

【外国人住民への支援】

ボランティアグループ「しまね多文化共生ネットワーク」は、外国人住民が病院で受診する際の言葉の不安を和らげるための医療通訳養成や、生活相談を受けるための24時間対応の緊急電話サービスを行っています。また、松江市のボランティアグループ「だんだん」など24の団体が、県内14市町で日本語教室を開催しており、県民との交流の場にもなっています。